

第73回 近畿数学教育学会例会プログラム

日時：2023年2月19日（日）

会場：大阪総合保育大学（A学舎）

9:30 - 10:00

受付

研究発表 20分, 質疑 10分

<p><A会場 201教室> 10:10 - 10:40 A1. 多角形を題材とした反転授業に基づく教育の構想 奈良教育大学学部生 谷本 悠樹</p>	<p><B会場 301教室> 10:10 - 10:40 B1.</p>
<p>10:45 - 11:15 A2. 中学校数学における「図形の証明」の指導に関する実践的考察 三重大学学部生 浅井 敬介</p>	<p>10:45 - 11:15 B2. 個人的ディスコースの発展に関する研究：小数の除法における「被除数と商の大小関係」を題材として 神戸大学大学院生 山内 優果</p>
<p>11:20 - 11:50 A3. $\sqrt{\quad}$の数の指導に関する実践的考察：正方形の一边を$\sqrt{\quad}$の数と定義して 三重大学教職大学院生 橋本 銀司</p>	<p>11:20 - 11:50 B3. Argumentationを視点とした認識論的障害の克服に関する研究：小数の乗法を題材として 神戸大学大学院生 宇都宮 由衣</p>

11:50 - 13:00

昼休憩

<p>13:00 - 14:10 ポスター発表</p> <p>P1. 算数科における周の長さや面積の理解を促す教材開発 ：第4学年「面積」の導入場面における事例分析より 島根大学学部生 坪内 ちひろ</p> <p>P2. 「もとの大きさ」を見いだすことを重視した学習指導の検討 ：第2学年「分数」の事例分析を通して 島根大学学部生 升谷 有里</p> <p>P3. 整数倍の理解における困難性の検討 ：第4学年にとっての「〇にあたる」の解釈過程に焦点を当てて 島根大学学部生 永島 萌絵</p> <p>P4. 三角形の底辺に対応する高さの理解 武庫川女子大学学部生 中部 花保 武庫川女子大学学部生 石坪 千代 武庫川女子大学学部生 中濱 綾乃 武庫川女子大学学部生 中西 碧</p> <p>P5. 女子大生の小銭の最適化に関する能力と実際 武庫川女子大学学部生 西野 光咲 武庫川女子大学学部生 北村 はるな</p>	
---	--

<p><A会場 201教室> 14:15 - 14:45 A4. 算数科授業観察を通じた教師の学びに関する研究 広島大学大学院生 友定 章子</p>	<p><B会場 301教室> 14:15 - 14:45 B4. 算数科における「説明」に関する概念の形成についての一考察：「説明を対象化する」ことによる事例分析を通して 奈良市立登美ヶ丘小学校 下村 勝平</p>
<p>14:50 - 15:20 A5. 関数 $y=ax^2$ の指導に関する実践的考察：階差に着眼して 津市立橋北中学校 柴原 大樹</p>	<p>14:50 - 15:20 B5. 小学校算数科の図形領域における説明する力の育成 滋賀大学教職大学院生 増山 諒</p>
<p>15:25 - 15:55 A6. 小学校算数科における一般化についての研究：「その場限りの理解」と「安定した理解」に着目して 神戸大学附属小学校/神戸大学大学院生 東 尚平</p>	

15:55 - 16:05

閉会行事 (A会場)